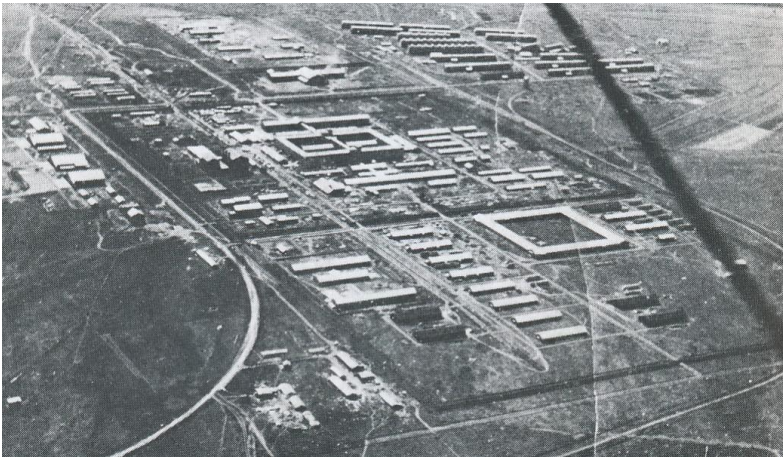


731部隊と100部隊の現在の課題



731部隊全景



100部隊に残る煙突

1930年代、中国東北部（旧満州）につくられた731部隊や100部隊では、人体実験を繰り返し、強毒な細菌兵器開発に余念がなかった。そこで作られた細菌兵器は、中国各地に撒かれ、多くの人々に深刻な被害をもたらした。

これらの部隊の人々は、敗戦直前、いち早く部隊建物を破壊し、証拠隠滅を図って、日本へ逃げ帰り、アメリカに細菌戦のデータを渡し、原爆の被害調査に協力するという条件で、戦犯免責された。

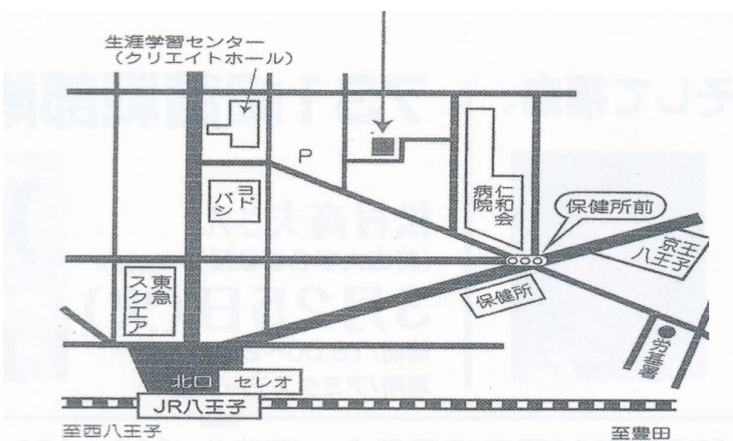
これらの部隊の医学者が、戦後どのような道を歩み、社会にどのような影響を与えたかを、最近出版された『留守名簿』をひも解きながら、じっくり検証したい。

パネル展！！

11月13日（火）～18日（日）10:00～18:00

場所：アミダステーション 1階 パネル展示 2階 731部隊関連動画上映

アミダステーション



入場無料

講演会のお知らせ！！

11月17日（土） 14:00～16:00

アミダステーション2階

「元731部隊軍医と強制不妊手術」

731部隊軍医・長友浪男は、なぜ厚生省強制不妊手術担当になり、北海道副知事になりえたのか
資料代500円

講師：加藤哲郎一橋大学名誉教授

著書：『「飽食した悪魔」の戦後—731部隊と二木秀雄「政界ジープ」』（花伝社）

『731部隊と戦後日本—隠蔽と覚醒の情報戦』（花伝社）など多数